

ひらおか

平岡地区町内会連合会

清田区平岡7条3丁目9-25 平岡まちづくりセンター内 TEL 883-7100 発行責任者：中川 昇 編集責任者：横山 勲



次なる40周年の佳節へ より安心・安全の「平岡」をめざして

平岡地区町内会連合会
会長 中川 昇

令和5年定期総会で、平岡地区町内会連合会、会長に再選いただきました中川でございます。コロナウイルス共生時代に入り、町連事業もほぼ順調に回復して参りました。平成5年4月1日、清田地区町内会連合会から独立し、本年30周年を迎えました。この輝かしい節目を迎えるにあたりまして、11月12日、創立30周年記念式典を実施させていただきました。

私は「咲いた花みて喜ぶならば、咲かせた根元の恩を知れ」との諺を好んでおります。まさしく、発足当時の塚田会長、役員の皆様が設立に大変ご苦労されました。そのご功績としまして規約が残り、その思いが今もパイプとして、有り難く活用させて頂いております。

平岡で開拓の鉄が入ってより130年の歴史があり、そこには平岡農事実行組合の存在があります。平岡地区会館設立に当たっては、多大なご支援がありました。緑が多い公園、クリーンな街づくり形成にも多大な貢献をされております。咲かせた根元の恩を、今一度顧みて感謝させて頂きます。

5月8日からのコロナ5類移行から、経済状況、新たな生活様式や多様化、人生100年時代、少子高齢化の対応をはじめ、町連、組織、事業も一層の創意工夫をしていかなければなりません。

- 基本は、
- 1.子どもたちの故郷「平岡」、楽しい思い出作り、安全な見守り。
- 2.永住の地としての「平岡」、安心安全で住んで良かったと思える環境作り。
- 3.清潔でクリーンな緑多い街の維持。
- 4.熱心に防災防犯に取り組む。
- 5.不登校生、認知症対策等です。

緑は人をつなぎます、音楽は活力を生む、思いやりは心を癒します。先人が残して下さった「平岡」の自然環境を一層活用した楽しいイベントを計画したいと思っております。

- 清田区共通の課題である、
- 1.地下鉄延伸。
- 2.清田区警察署設置。
- 3.区役所を中心とした街づくり拠点の活性化を共に取り組んで参ります。

次の40年、50年を目指して築いて参ります。

今号の目次

- 一面～「ごあいさつ」
- 二面～三面
 - ① 平岡町連30周年式典紹介
 - ② スクールガード表彰者紹介
- 四面～① enjoy平岡夏祭り紹介
② 令和5年度役員紹介

**安心して住み続けたいまち
清田区に！**

札幌市清田区
区 長 知 野 学

本年4月に清田区長に着任いたしました知野でございます。平岡地区町内会連合会の皆様には、日頃より清田区のまちづくりにご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

着任以来、地域の行事や活動に参加させていただく中で、平岡地区は世代間の交流や支え合い活動が盛んな地域という印象を持ちました。一例をあげると、「交通安全街頭啓発」への多数の児童の参加、幼児の子育てを支援する「こうめちゃんサロン」などの賑わい、また、毎日の登下校の見守り活動などです。また、高齢の方の見守り活動である「ふれあい友愛訪問」、交流の場となる「咲かせよう！わ」の開催なども地域にたくさんの明るい話題を届けています。

これらの活動が、町内会や町内会連合会の皆さん、福祉のまち推進センターの皆さん、民生委員・児童委員の皆さんを始め、地域の皆さんが積極的に活動、参加することで、自らの手で安心して住みやすいまちづくりをされていることに改めて敬意を表します。

平岡地区は今年、町連創立30周年を迎えました。この間、計画的なまちづくりにより、自然や緑と調和した住宅街が形成されてきました。特に、平岡公園は地域のシンボルとして、毎年咲かせる梅の花、ほのかな香り、幻想的な景色を楽しみにされ、愛着を持たれている方も多くいらっしゃるのではないのでしょうか。

地域の皆さんで育み、次の世代にも残し、伝えていきたいものがあることは素晴らしいことだと思います。

清田区は、札幌市の中でも新しく、活力と美しい街並みを持つ素晴らしい区であると思います。高齢社会を迎え、まちづくりに人のやさしさが加わることが、住みごこちの良い地域の形成の鍵になります。地区の発展のため、職員一同が心一つにして、皆さんとともに、さらに住みやすく、住み続けたいと思えるまちづくりに努めて参ります。

結びになりますが、平岡地区町内会連合会の益々のご発展と、会員の皆さまのご健勝、ご活躍を心から祈念して、ご挨拶の言葉とさせていただきます。

**ご存知ですか
平岡町連ホームページを開設！**

パソコンとスマホでご覧になれます。
アドレスは次の通り。
<http://hiraoka.kiyotamin.net/wp/>
スマホはQRコードから手軽にご覧できます。

町連初！ enjoy 平岡夏祭り！

盛夏の一日、子どもたちの歓声ひびく賑わいのなか開催！



▲ひょっこり踊り



▲平岡中央小学校児童による合唱

平岡町連30周年を記念して昨年から計画を進めてきた町連初の「enjoy平岡夏祭り」は、盛夏の8月6日(日)、平岡樹芸センターにおいて催されました。夏祭り当日は、数日前からの雨も小降りとなり昼頃には青空に恵まれる一日となりました。

夏祭りは、清田相撲甚句の会により幕が切られ、笑(しょう)の会によるひょっこり踊りが会場の笑いをさそう中で進められました。

続いてかわいい平岡中央小学校の皆さんによる合唱、平岡小学校の皆さんのよさこい踊りが元気いっぱい披露されました。午前の部の終わりでは平岡老連協によるカラオケがあり、全道民謡大会で優勝という「江差かもめ」なども聞くことができました。

庄巻の津軽三味線！ 忍弥(NIYA)さんが観衆を魅了



午後に入ってすぐに、津軽三味線の魅力を次世代へ伝えるために精力的に活動されている 忍弥(NIYA)さんの登場で夏祭りは一挙に盛り上がりしました。津軽三味線独特の力強いバチさばきによる「津軽じょんから」に

始まり、若々しいハリのある「あいや節」や「弥三郎節」などが会場いっぱいひびき、ふだんなかなか聴くことができない「津軽甚句」など1時間を超えるコンサートは、アンコールのかけ声が出るほどに集まった人々を魅了していました。

続いて、ふれあいサポートの園部さんたちによる懐かしい歌曲、さらにソプラノ歌手木村マリ子さんの「となりのトトロ」や井上陽水の「少年時代」などが続き聞き入っていました。

しめくくりは 子どもたちによる盆踊り！



▲ビンゴ大会

午後3時から、ビンゴ大会がおおよそ300人の子供たちの歓声で大きく盛り上がり、続いて清田キッズダンスによる幼稚園生と小学生の元気な踊り、「フラサークルウルヴェヒラニ」の皆さんによるフラダンスが会場前方いっぱい色鮮やかに披露され、ともに大きな拍手につつまれました。

午後5時から、子供盆踊りが会場中心の芝生広場で行われ、昼過ぎから青空にも恵まれた初めての「enjoy平岡夏祭り」は地域の方々とともに賑わいの中で閉会しました。来年も是非という声もあり、平岡の地域へ確かな一歩を残した夏祭りとなりました。

▲緑日

令和5年度 平岡地区町内会連合会 役員

会長……………中川 昇	監事……………佐藤 二三夫	福利厚生部長……………横山 勲	交通安全対策部長……………田井中 隆	広報部長……………横山 勲
副会長……………横山 勲	監事……………吉田 孜	環境衛生部長……………大藤 繁	青少年育成部長……………北川 洋一	女性部長……………細田 伸子
副会長……………大藤 繁	総務部長……………横山 勲	防犯防災部長……………中川 昇	体育部長……………佐藤 博之	会館運営委員長……………中川 昇
副会長……………串山 公雄	財務部長……………串山 公雄			

令和5年度 単位町内会 会長

平岡東町内会 会長……………佐藤 哲也	パークシティ平岡町内会 会長……………岩倉 松男	平岡梅ヶ丘町内会 会長……………山田 善真
平岡ミサワ町内会 会長……………松坂 宏一	平岡第一自治会 会長……………丹羽 則行	平岡シュヴァーピング町内会 会長……………黒澤 裕之
平岡コープタウン町内会 会長……………長谷川 陽一	平岡第二町内会 会長……………千嶋 洋一	平岡南団地自治会 会長……………畠山 千代子
平岡しんたく自治会 会長……………佐川 了	平岡第三町内会 会長……………佐々木 瞬一	シュヴァーピング2番館自治町内会 会長……………榎 尚子
南平岡町内会 会長……………清平 和夫	平岡中央町内会 会長……………天野 雅一郎	シュヴァーピング9番館町内会 会長……………西藤 彰悟
平岡春風台町内会 会長……………桐山 誠一	平岡北町内会 会長……………横山 勲	シュヴァーピング1番館自治会 会長……………寺西 一重
平岡団地自治会 会長……………大藤 繁	平岡公園町内会 会長……………安藤 英夫	アリアパーク平岡町内会 会長……………中前 敏
平岡親和会町内会 会長……………吉本 秀勝	平岡小学校前町内会 会長……………神馬 憲秋	ウイズランド平岡町内会 会長……………田村 優
平岡町内会 会長……………水上 悟	平岡雪割草町内会 会長……………谷橋 泉	

編集後記

第56号は平岡地区町内会連合会30周年記念式典・祝賀会並びにenjoy平岡夏祭りを中心にお届けします。初の夏祭りでは終日聞こえていた子どもたちの歓声が、次代への大きな活力を感じさせてくれました。これまでの3年間は新型コロナにより地域の活動も停滞を余儀なくされて来ましたが、今後は、30周年を機に今まで続いた守成を創業に転じ、新たな思いで誰にも優しく懐かしい故郷・平岡がともに手を携えながら築かれること期して編集後記と致します。

副会長/広報部長 横山 勲

平岡地区町内会連合会 創立30周年記念事業挙行報告

たくましく生きる!平岡の大地



記念祝賀会開催! 30周年をともに祝いさらなる発展を願う

平岡地区会館にて、令和5年11月12日(日)AM11時、定刻通り式典を横山副会長の司会で開始致しました。式典は清田区長以下5名・議員8名・清田地区町内会会長4名・他平岡地域がお世話になっている関係団体の皆様で、79名の臨席を得ました。

式典11時開式の辞・中川会長の式辞・来賓紹介を経て来賓祝辞、清田区長:知野様、清田地区町内会連絡協議会会長:鈴木様、町連顧問参議院議員:岩本様、3名の来賓より祝辞をいただきました。

中川会長の挨拶では、町連発足当時の役員や、平岡農事実行組合の多大なる寄付により平岡地区会館が建設されたことへの感謝を述べ、さらに、先人が培ってくれた平岡に住んで楽しい・良かったと言える街にしていくとの決意を述べられました。引き続き知野区長の祝辞のあと、岩本顧問の挨拶では、高校時代での平岡の様子を話されて、今では住宅が立ち並び立派な街になり、皆さんの努力によるもので敬意を表しますと述べられました。続いて、長年通学路で学童の見守りをしている、スクールガードの皆様4名に壇上にて中川会長から感謝状と寸志贈呈後、演壇下で中川会長・知野区長・実行委員長と共に記念撮影をして、長年の労に感謝致しました。

閉式の辞では先人の労を称えた後に、26単町がそれぞれに「笑顔のある町・笑顔の見える町」に努めている事、平岡町連がその要となる事を約束すると大藤実行副委員長が閉会の言葉を述べ、11時40分頃、厳粛な内に式典を終了しました。

創立30周年記念祝賀会は、午前の式典に引き続き正午より平岡地区会館大ホールで開催されました。祝賀会には、来賓として清田区区長等区関係、清田区選出道議会議員、市議会議員、清田区各町内会連合会会長並びに元・町づくりセンター所長、平岡農事実行組合長など21名、さらに小中学校、社会福祉協議会、商工会、清田第一地域包括支援センター、清田区介護予防センター、老人クラブの代表、平岡地区町内会会長等合計64名が出席しました。

平岡町連 30周年式典 盛大に開催!

開宴は先人への感謝で祝杯

祝賀会は、式典に続き横山副会長の司会で進められ、始めに水上悟実行委員の開会の辞。続いて吉田孜実行委員長が「実行委員会は昨年5月に立ち上げ、うまくいって当たり前を合い言葉に準備を進め、先ほど式典を皆様のご協力ですべて無事に終えることができました。これからの祝賀会ではゆっくりと歓談しながら平岡の今後のご指導を賜りたい」と参加者への謝辞がありました。

続いて、宮下准一参議院議員が発声し立ち、「町連30周年にあたり先人の皆さまに感謝するとともに、清田区の懸案であります地下鉄延伸、警察署の設置など、この緑豊かな清田区の良いところを発展させるよう今後とも皆様とともに努めてまいります」と述べて、祝杯をあげ祝宴に入りました。



▲宮下道議の発声で祝杯をあげ祝宴のひとつへ



▲中川会長の式辞〜ご来賓の皆様より祝辞を頂戴しました(左上より時計回りに、中川会長・知野区長・岩本議員・鈴木会長)

祝賀会に華を添えた道内出身の女性歌手

祝宴の中では、道内出身の歌手で五大民謡大会で優勝した「はかまだ雪恵さん」が幅の広い歌唱力で多くの歌を紹介しながら、おおよそ40分間にわたり歌と語りの中で町連の祝いのを、会場を華やかに彩りを添えてくれました。

会は、多くの地域の方たちの交流を深める場となり、旧交を温めたり、近況を伝え合うなど、それぞれに懐かし楽しいひとときを過ごしました。



▲はかまだ雪恵さんが歌唱での祝賀を

未来の幸せを願い会場いっぱい万歳三唱

会の終わりの万歳三唱では、子ども会育成会連合会清田支部の石川支部長から「幸せを内に包むように手をあげましょう」と声掛けがあり、平岡地区の将来の幸せをみんなで願う万歳を会場いっぱい響かせました。最後に、寺西一重実行委員の閉会の言葉をもって、多くの参加者とともに喜びに満たされた記念祝賀会は午後一時半頃に終了しました。



スクールガードの皆様4名への感謝状贈呈



スクールガード受賞者のことばを紹介致します

私は、30年努めています。子供たちが大人になり通勤途中で私に気付く「おばさん元気だった」と言って声掛けしてくれる。覚えていてくれた事が嬉しい。一番気を使うのは冬ですね、足元が悪いですから。30年の間には体調不良で休むこともありました。今は私にとって孫の世代、そんな子供たちが「おばさん大丈夫」と声掛けしてくれます。一番嬉しいときです。

まさに「スクールガード30年のあゆみ」を聞くことができました。



『町連のあゆみ』

創立30周年記念事業 実行委員 水上悟

平岡地区町内会連合会は20年間の実績を踏まえて、さらなる平岡地区の『安心と安全』まちづくりを進めてまいります。

- 1.平岡の人々が交流と活動の輪を広げる事で、いきいきと暮らせる街づくり。
- 2.平岡地区を故郷として成長していく子供たちの楽しい思い出作り。
- 3.永住の地として、平岡を選び安心して暮らせ、ここに住んで良かったと思える街。
- 4.花・緑が多くクリーンな街づくりを進め、行き交う人々が声を掛け合える街。
- 5.防犯活動、防災訓練、交通安全活動の熱心な街。

6.スポーツ、お喋り、カラオケが盛んな文化、お祭り等楽しめる街。
しかしながら全国的な地震・台風・豪雨・暴風雪災害が多発、日本初ブラックアウト北海道全域の停電また、中国感染確認されて数か月ほどでの間にパンデミックといわれる、世界的な流行となった新型コロナウイルス感染症発症に伴い、北海道独自の緊急事態宣言が発令され以降3年間、ほとんど全ての事業が中止となりました。

また、平岡地区住民の高齢化率の上昇、各単町は勿論町連役員も担い手不足となり、この事態を踏まえて令和2年町連理事会に於いて、次期町連三役の公募が決定しました。

令和3年よりコロナワクチン接種が始まり、令和4年度の町連総会は書面決議となりましたが、令和5年度の事業はコロナ感染を阻止する為、工夫をしながら町連事業を行ってまいります。